

| | | | |
|---|--------------|-------------|------------|
| No.7 | 高度化 | | |
| 氏名 | 田代 蒼馬 | 映像学部 | 3回生 |
| 1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。 | | | |
| 30秒程のドキュメンタリー映像によって飲食店の広告を行う。映像は、映像を学ぶ学生や駆け出しのクリエイターなど、映像技術を発揮する場所を求め人によって提供される。動画の内容は、単なる食べ物や内装を映すだけでなく、料理人の想いや店のこだわりを焦点を当てたものにする。料理人へのインタビューを行い、最も伝えたいと思われる言葉は、音声でも文字でも構わないが、映像の中に残すようにする。動画を掲載する飲食店、つまり契約店舗は、学生による営業によって獲得する。こちらも、報酬は1店舗あたりに対して支払われる。成果報酬がもらえ、さらにコミュニケーション能力を獲得できるこの営業の仕事は、学生にとって需要があると考えている。そして、営業する学生を組織化し、組織内でお互いに高め合いながら仕事に取り組める環境を作る。飲食店は、掲載費を月々固定で払う。サイトに契約店舗の動画を掲載するだけでなく、店舗の要望に応じてクーポンを発行するなどの集客支援も行う。最初は場所を京都に限定し、美味しい飲食店が多い京都において、あまり注目されていない個人経営の店舗なども巻き込み、京都をグルメの街として盛り上げていく役割を担う。 | | | |
| 2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。 | | | |
| ・京都府の飲食店30店舗の映像の制作を行う。撮影と同時に、サービスに月々払える金額感をヒアリングする。・映像制作を行う中で、飲食店の撮影に最適な機材を購入し、制作技術の向上に努める。・映像をつくるクリエイターの選定も、同時に行う。・営業する学生の募集を、SNS等を通じて行う。 | | | |
| 5. 今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。 | | | |
| 数多くの飲食店における映像制作を行うことは難しくなっているが、できる範囲での制作を開始していく。「人の思いに焦点を当てる」ということを意識し、ジャンルは違っても同じ価値を提供できるように努める。 | | | |
| 6. 今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。 | | | |
| 映像制作だけでなく、つくった制作物をいかにして視聴者に届けるかというマーケティングの部分に関心を持つようになった。現在、映像の使い道や、その効果測定といった側面に着目して学びを続けている。 | | | |
| 7. 今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会・周囲）への貢献・還元で記述してください。 | | | |
| 実際の撮影を数多く行うことはできなかったが、SNSを通して自分の学び等を発信することで、共感して下さる人がいた点。コロナの影響で飲食店などで映像を撮るのが難しくなったからこそ、その価値や本質を考え直し、学部の仲間などと議論することで、より学びを深めることができた。 | | | |

| | |
|---|---|
| 3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。 | |
| <p>The graph shows a fluctuating but generally upward trend in motivation. Key points include: <ul style="list-style-type: none"> 採用前: Motivation is low, described as 'considering plans but full of desire'. 採用: Motivation rises significantly after being adopted. 採用後: Motivation drops due to 'COVID-19 impact' and 'emergency declarations'. 現在: Motivation rises again due to 'efforts to improve video production skills' and 'providing value through videos'. </p> | |
| 3-2. グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。 | |
| コロナの影響で思うように計画が進まず苦しかったが、できる範囲の中で撮影を行い、その他にも個人的な撮影を行い、映像制作技術の向上に努めることができた。 | |
| 3-3. “今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？ | |
| 映像学部で映像の構図や機材の使い方を学んでいて、それらを実践することができたので非常に良い機会となった。また、ジャーナリズムの授業で被写体となる対象との関わりを学んでいたことで、利己的にならず、相手のことを考えた接し方をすることができた。 | |
| 4. 本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか5段階で評価してください。（該当ナンバーに○）また、併せて評価の理由も書いてください。評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】 | |
| ① 目標の達成度 | 1 |
| <理由> 緊急事態宣言等が発令されたこともあり、実際の撮影が困難となったから。また、PR映像に資金を出せる飲食店も少なく、ビジネスとして持続させることが難しかった。 | |
| ② 計画の達成度 | 2 |
| <理由> 上記で述べたように、思ったような活動を行うことができなかったため。だが、その都度代替案を考え、実行することができた点は良かったと思う。 | |
| ③ 取り組みを通じた自己成長 | 5 |
| <理由> コロナの影響で計画通りに活動することが難しかったが、常に自分自身ができることを考え、実行することができたから。 | |
| 10. 今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。 | |
| ① 身についた力 | 自己分析力 |
| ② ①で記述した力について具体的に説明してください | 自分の計画と現状を比較し、実行が難しい点とそうでない点を見極める力を身につけることができた |
| ③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください | 緊急事態宣言によりできることが制限された中で、その中で自分自身ができることを考えるようになったから。実際の制作以前に、必要な機材があることや制作技術に改善の余地があることに気づき、改善するための行動を考え実行した。 |